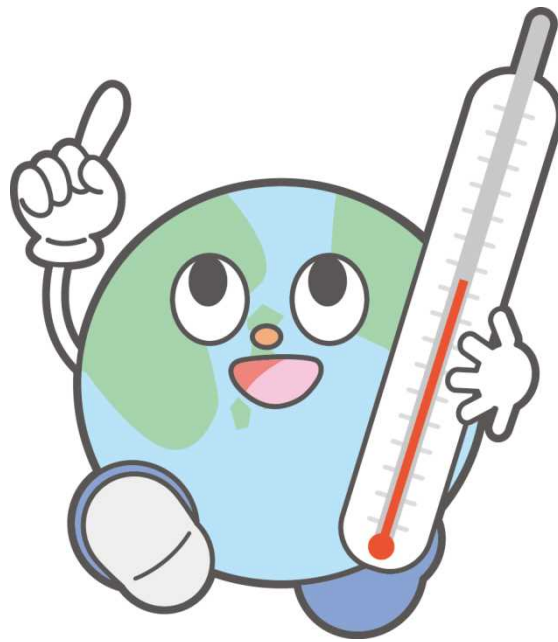


平成30年（2018年）度
関西エコオフィス大賞

～受賞事業所の取組紹介～



地球くん



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

広域環境保全局（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）

平成30年度関西エコオフィス大賞 受賞事業所

○関西エコオフィス大賞

あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー [大阪府・大阪市]

取組によってガソリン使用量も削減されている他、その体験を顧客への提案に活用するなど、他企業、府県民等にも水平展開可能な良い事例である。また、その他にも、高効率空調・LED照明・エコカーの導入、未使用エリア・昼休みの消灯、ペーパーレス会議、生物多様性保全活動など、様々な環境配慮の取組が実施されている点も評価された。

○関西エコオフィス奨励賞

株式会社安藤・間 大阪支店 [大阪府・大阪市]

取組によりCO₂排出量が大幅に削減できている。また、社屋環境パトロールにより、不具合の指導、好事例の水平展開をするなど工夫されている点も評価された。

イオンモール四條畷 [大阪府・四條畷市]

「見える化」により管理しやすくした好事例であり、これらの取組により、実際CO₂排出量が削減されている点、他の企業等にも水平展開可能な点が評価された。

大阪厚生信用金庫 [大阪府・大阪市]

節電のために、終業時間の繰上げを徹底されている点、業務を効率良く遂行するために随時業務実施方法を改善されている点が評価された。

銀鈴タクシー株式会社 [京都府・京都市]

タクシーのエコドライブは良い取組であり、これが他のタクシー会社でも広がれば、さらにCO₂排出抑制効果は高くなることを期待して評価された。

株式会社DINS 堺 RAC 事業所・バイオエタノール事業所 [大阪府・堺市]

優良事例を、社内だけでなくグループ会社間でも共有することにより、全体でレベルアップされている点が評価された。

株式会社ナンゴー [京都府・宇治市]

従業員数が少ない中、様々な取組を工夫して実施されている点が評価された。

■関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー	
ホームページURL	https://www.aioinissaydowa.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	大阪府大阪市北区西天満 4-15-10
	業種・業務内容	損害保険事業（営業、損害サービス業務）
	従業員	約 2,000 名
主な取組項目	エコ安全ドライブ・事故削減の取組として、自社のテレマティクス技術を活用した社用車の走行データ・事故データや運転スコアの分析、またオフィスにおける省エネ・ペーパーレス取組を実施。	

【取組の具体的内容】

エコ安全ドライブ・無事故推進の取り組み

- 2017年度にエコ安全ドライブ・無事故推進運動の取り組みとして、部支店別対抗戦を実施しました。優良店を表彰するなど、全社をあげてエコ安全ドライブ・事故削減に取り組めました。
- 部支店別対抗戦では、当社が持つ最新のテレマティクス技術を活用し、運転挙動を確認するテレマティクスタグの設置・アプリの利用（Visual Drive）※によって、部支店別の「運転スコア」や走行履歴等を確認し、アプリにて評価される「運転スコア（90点以上）」等から優良運転の成績上位部支店を表彰しました。
※ 社有車によるテレマティクスタグ・アプリの利用について、取得できる走行データと事故データの分析から事故低減施策の実施や効果検証の環境を整えることを目的に実施しており、原則全ての社有車に設置し、利用している。
- 2018年度も10月～12月に、エコ安全ドライブ無事故推進運動を実施しています。テレマティクスを活用して、社有車の走行データや事故データの分析に取り組んでおり、事故低減施策の検討または効果検証に利用すべく実施しています。

【取組を始めた契機・経緯】

- 当社では、交通事故の削減と環境負荷の低減に取り組むことが損害保険会社の社会的使命と認識しています。そのため、交通事故を減らすとともに環境にもやさしい「エコ安全ドライブ無事故推進運動」を実施しています。
- エコ安全ドライブの実施を通じて、社会的な課題であるCO2排出量の削減や交通事故の減少を通じた廃棄物の削減等、環境負荷の削減に寄与する取り組みを展開しています。お客さまへエコ安全ドライブ・無事故を推奨する立場にある損害保険会社の社員として、自らが交通事故を起さないことを認識するために、社有車でもエコ安全ドライブ・無事故推進運動に取り組めます。

【効果】

- 2017年4月より、当社営業社有車でテレマティクス・アプリ（Visual Drive）を利用したことにより、事故低減効果が認められています。
- 取得した走行データと事故データの分析から、事故低減施策の実施や効果検証の環境を整えることを目的に実施しています。

【他事業所への普及の可能性】

- テレマティクス・アプリ（Visual Drive）を利用したエコ安全ドライブ・無事故推進運動は、全社を挙げた取り組みです。この取り組みにより、実際に事故低減効果が表れています。
- 2017年度の全社ガソリン使用量実績は、エコ安全ドライブの推進やハイブリッド車等のエコカー導入推進等の取り組みにより、前年度比▲4.0%となっています。

【取組において創意工夫した点】

- 当社が持つ最新のテレマティクス技術を活用し、運転挙動を確認するテレマティクスタグの設置・アプリの利用（Visual Drive）※によって、「運転スコア」や走行履歴等を確認し、「運転スコア（90点以上）」を確認し、エコ安全・無事故推進運動に役立てています。
- テレマティクス技術の理解浸透と活用を進めるにあたり、2017年度に部支店別対抗戦を実施し、全国の各部支店が競い合って取り組めるよう工夫しました。

【従業員への周知・啓発の方法】

- ・ 部支店別対抗戦の実施を全社通知で案内し、社内へ情宣しました。対抗戦により各部支店が競い合っていて取り組み、その結果は社内イントラネットに掲示し、社員誰もが確認できるようにしました。

【取組の開始年・継続期間】

- ・ テレマティクス技術を活用したエコ安全ドライブ・無事故推進運動は、2017年度から実施し、2018年度も継続実施しています。

※ 2018年度は大阪北部地震・台風等の自然災害対応のため、部支店対抗戦は未開催です。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

- ・ 社員が実際に取り組み・体験することで、テレマティクスの効果を実感し、お客さまへも取り組み効果をより具体的に伝える事が出来るようになっていきます。

【その他アピールしたい点】

- ・ テレマティクスを活用して、社有車の走行データや事故データの分析に取り組み、その効果を社内のみならずお客さまの事故低減施策の提案にも活かしています。社会全体の交通事故や環境負荷の低減につなげていきます。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

1. 全社をあげたエネルギー使用量削減取組

- ・ 当社は、グループ環境基本方針のもと、企業の環境取組みへの社会的要請や環境規制に対応し、持続可能な社会の構築に向けた取組みを推進しています。
- ・ 毎年、電力・ガソリン・紙の削減目標を設定し、社長を委員長とするサステナビリティ委員会（年4回開催）にてその進捗を確認し、対策を立て、実行する、PDCA サイクルにてエネルギー削減に取り組んでいます。
- ・ 本社においては ISO14001 認証を取得、また各職場において部支店長を広報・サステナビリティ推進責任者とし、全社をあげて環境取組みを推進し、その取組みを社内外へ発信しています。
- ・ インフラ面では、高効率空調やLED照明等の省エネ設備の導入・切り替え、社有車買い替え時のエコカー導入、エコ安全ドライブ無事故推進運動を推進し、エネルギー使用量削減に取り組んでいます。（2017年度全社実績（対前年度比）：電力▲12.7%、ガソリン▲4.0%、紙 14.9%（うちコピー用紙▲4.9%））
- ・ グループで COOL CHOICE の取り組みに賛同し、通年でクールビズ（原則4月-10月）、ウォームビズ（原則11月-3月）に取り組んでいます。
- ・ 省エネ取組みとして室温が原則、夏期 28℃、冬期 19℃となるよう空調設定を推奨、未使用エリアの消灯・エアコン停止や昼休みの消灯、長時間離席時のパソコン電源 OFF、階段利用（2up, 3down）、働き方改革（早帰り）を推進しています。大阪府が進める「Well-Being OSAKA Lab」にも設立メンバーとして参画しています。
- ・ 紙使用量の削減取組みとして、適正な印刷物発注・在庫管理、ペーパーレス会議、コピー用紙の両面印刷等を推進しています。
- ・ エネルギー使用量データを社内に開示（「見える化」）した上、目標に対する進捗について各部支店・拠点の広報・サステナビリティ推進責任者（部支店長）等へ情報を発信し、積極的な省エネ取組みの実施を働きかけています。
- ・ 全社員を対象としたeラーニングや日常の環境・省エネ取組みを振り返るアンケートを実施し、社員への教育啓発を毎年、継続実施しています。

2. 関西地域最大のフェニックスタワー（大阪市北区）での設備更新の実施

- ・ 旗艦ビルであるフェニックスタワーでの照明設備更新工事を実施しました。ビル内の蛍光灯を50%間引きする運営を行ってきましたが、2017年度の改修工事で館内主要照明はすべてLED化（約3,600か所）し、更なる電力節減を図りました。
- ・ 照明工事に加えて、2018年度は空調改修工事も実施しており、更なる省エネ化が見込まれます。

3. CSR活動等独自の取組み（当社の地域貢献活動：後記写真を添付）

（1）大阪府への災害備蓄米と飲料水の寄贈

- ・ 2018年9月に大阪府の福祉の推進に向けて、災害備蓄米9千食と飲料水1,176本を寄贈しました。
- ・ 大阪府を通じ、生活困窮者への支援（子どもの支援含む）に従事する自治体・団体へ配布されました。

（2）生物多様性保全活動（MS&ADラムサールサポーターズ）

- ・ グループでの生物多様性保全活動「MS&ADラムサールサポーターズ～いのち・つなげる・水辺から～」の取組みを全国各地で実施しています。
- ・ 関西・四国地域では、琵琶湖・徳島吉野川河口において、外来種駆除やいきもの観察等、現地の行政やNPOと連携し実施しています。楽しみながら参加できる活動として毎年実施しており、大阪の人事・総務チーム等が事務局となり社員に参加を呼びかけ、2018年度は当社の社員やその家族ら約200名が参加しました。

<エコ安全ドライブの取り組み推進>

ポイント1 ふんわりアクセル『eスタート』 やさしい発進を心がけましょう。

環境面の効果 普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20kmが目安）だけで10%程度の燃費が改善します。

安全面の効果 やさしいアクセル操作は、加速も緩やかで時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。

ポイント2 早めのアクセルオフ エンジンブレーキを積極的に使いましょう。

環境面の効果 エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善します。

安全面の効果 早めにアクセルをオフにすると、速度の低下も早まるので時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。

ポイント3 加減速の少ない運転 交通状況に応じた安全な速度変化の少ない運転に努めましょう。

環境面の効果 加減速の機会が多くなると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。

安全面の効果 交通状況に応じた速度変化の少ない運転は、無理な追い越しなどもなくなるので、安全運転にもつながります。

<クールビズ・ウォームビズ取り組みポスター>

お客さま各位

COOLBIZ

WARMBIZ

年間を通じた「ノーネクタイ・ノージャケット」と室温設定について

弊社は「MS&AD インシュアランス グループ 環境基本方針」のもと、気候変動・地球温暖化防止の取り組みを推進しています。

役職員に対し、年間を通じて「ノーネクタイ・ノージャケット」（クールビズ・ウォームビズ）での執務を認めるとともに、事務所内の温度を夏期 28℃（冷房）、冬期 19℃（暖房）となるよう設定しています。

お客さまにおかれましては、暑さ・寒さを感じられる場合があると存じますが、省エネ取り組み推進のため、本取組みの趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



<エコステッカー：PC電源OFF推進、エコ安全ドライブの取り組み推進>

パソコン電源OFF推進 エコステッカー

IO環境宣言

パソコンに貼り、一人ひとりが消費電力削減に取り組みましょう!

1時間以上離席時・外出時は、PCの電源「OFF」または「スタンバイ」設定。スクリーンセーバーや画面を閉じただけでは、電力削減にはなりません
(スタンバイ設定: 「スタート」ボタン → 「シャットダウン」 → 「スタンバイ」選択 → OK)

Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)

■「電源OFF」シール: 説明スライダやプリンタなどには貼って下さい。
「出力削減」シール: プリンタの設置つとこらへ貼って下さい。
「コピー削減」シール: コピー機の自立つとこらへ貼って下さい。

昼休み・退社時など、
使っていない時は
電源OFF

昼休み・退社時など、
使っていない時は
電源OFF

出力を減らそう!
画面で確認
縮小印刷推進

出力を減らそう!
画面で確認
縮小印刷推進

コピーを減らそう!

①会議資料を減らそう
②回覧で済まないか
③縮小コピーが出来ないか
④両面印刷を徹底
⑤大量文書は印刷機で
⑥資料の「共有化」推進

もう1度考えて!

<地域貢献活動①: 大阪府への災害備蓄米と飲料水の寄贈>



<地域貢献活動②: 生物多様性保全活動「MS&AD ラムサールサポーターズ」>

・琵琶湖

・徳島吉野川



■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	株式会社安藤・間 大阪支店	
ホームページURL	http://www.ad-hzm.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	大阪府大阪市福島区福島6-2-6
	業種・業務内容	総合工事業（主として管理事務を行う支店）
	従業員	224名
主な取組項目	節電の取組として、室内照明の節電管理（昼休み消灯、利用時のみの点灯等）、パソコンプリンタ等の電源オフ管理（パソコンは省エネモード・長時間離席時電源オフ等）、階段フィットネス、社屋環境パトロール等を実施。	

【取組の具体的内容】

節電の励行

- ① 社員全員で活動《支店ビル並びに管轄営業所ビルに従事するすべての従業員（契約社員も含む）》
 - ・ エコオフィス要領を作成し活動展開《ルール・手順の標準化》
 - ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《見える化、注意喚起》
- ② 室内照明の節電管理の徹底
 - ・ 昼休み時間（12:00～13:00）の全面消灯
 - ・ ムダな照明の点灯防止《各エリア（部門ごと）の点灯実施、就業時間以外の消灯徹底》
 - ・ 利用時のみの照明点灯《会議室・トイレ・洗面所》
- ③ パソコンプリンタ等の電源OFF管理
 - ・ パソコンは初期設定で省エネモード（離席15分以上）
 - ・ パソコン電源OFFルールの実施（離席2時間以上は電源OFF）
 - ・ 待機電力削減ルールの実施（プリンタ等は最後使用者が電源OFF）
- ④ 「階段フィットネス」他の実施
 - ・ エレベーター利用低減による電力削減、階段照明電力削減（人感センサー照明対応）
 - ・ 健康増進

【環境月間（毎年6月）活動】

- ・ 環境省ライトダウンキャンペーンに参加《6/21、7/7の20時～22時一斉消灯実施》
- ・ 「社屋環境パトロール」の実施。《エコオフィス活動や労働環境状況のチェックと見直し》

【取組を始めた契機・経緯】

- ・ 社会における地球環境保全の高まりを受け、2000年に環境方針を制定。
- ・ 同年ISO14001全社認証（株式会社間組）を取得。それを契機にオフィス（支店ビル）における環境への取組を開始。
（2012年に安藤建設株式会社と株式会社間組が合併し株式会社安藤・間となる）
- ・ エコオフィス要領を作成《オフィスでの環境への取組み内容を具体化、明確化し展開》
- ・ 環境月間を定め活動展開《2017年からさらなる環境に対する意識向上と環境活動の定着》

【効果】

- ・ 大阪支店、営業所ビルにおける年間エネルギー量を約18.5%削減。
2013年 137.88（原油・kl/年） ⇒ 2017年 112.32（原油・kl/年）
- ・ 年間照明電力量を18.9%削減
2013年 535,979（Kwh） ⇒ 2017年 434,428（Kwh）
- ・ 大阪支店・営業所オフィス活動におけるCO2排出量を約13.8%削減
2013年 2.53（t-CO2/人年） ⇒ 2017年 2.18t-CO2/人年）
- ・ 環境省ライトダウンキャンペーンに参加し、支店・営業所で128kwhの削減に貢献（2018年）
（全社で264施設が参加 総削減電力量3270kwh、CO2排出削減量約1.67t-CO2）

【他事業所への普及の可能性】

- ・ 全社で『環境日常管理項目』として「オフィス活動におけるCO2排出量」・「年間エネルギー量」をモニタリング《結果分析と方策の評価見直し》
- ・ 全社の環境活動結果を『環境データ集』にまとめ、社外HPに公開（毎年9月更新）

【取組において創意工夫した点】

- ・ エコオフィス活動を要領として文書化（誰もがわかるような具体的な内容、ルール・手順の標準化）
- ・ エコオフィス活動の啓蒙（ポスター掲示、ルール・手順の表示）
- ・ 小さな節電活動でもコツコツと積上げる《例：温水便座フタ閉め活動、ポット無駄な電源OFF》
- ・ 環境月間の行事として『節電』を挙げ、身近な取組としての活動の再認識を図っている。
- ・ 『社屋環境パトロール』を実施し、環境活動状況、労働環境をチェックし不具合指導、好事例の水平展開等、継続的改善の実施。

【従業員への周知・啓発の方法】

- ・ エコオフィス要領を大阪支店ホームページに掲載《必要時にすぐ確認可能》。
- ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《ルール・手順の見える化、注意喚起》
- ・ 環境月間活動の推進《社長の環境月間メッセージの朗読、支店長メッセージの伝達》

【取組の開始年・継続期間】

- ・ 「節電の徹底」の取組を2000年のISO14001全社認証取得から継続実施。
- ・ 「環境月間」の取組を2017年から実施。今後、取組内容を拡大させながら継続実施予定。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

- ・ エコオフィス要領の作成《ルール・手順の標準化》
- ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《ルール・手順の見える化、注意喚起》
- ・ 『社屋環境パトロール』による継続的改善《不具合是正・好事例の水平展開、方策の見直し》

【その他アピールしたい点】

- ・ 環境の中期計画『環境目的・目標3ヶ年(2016-2018年)』を策定し展開、活動結果を分析評価。
- ・ 経営トップや支店幹部他による環境に特化した環境パトロールの実施《現状把握と見直し》
2018年は47回実施（全国にて本社役員5回/支店幹部17回/担当部門25回）
- ・ 2018年、当社の環境方針を改訂し、政府が進める「第四次環境基本計画」に提唱されている基本計画と整合させ、社会の要請に積極的に取り組む姿勢をコミットメント。
- ・ 『環境方針』や『環境目的・目標3ヶ年』等はサステナビリティレポートや社外HPに公開

その他の環境に配慮した事業活動への取組

① 適正冷暖房温度の設定・クールビズの実施

- ・ 冷暖房の適正温度の設定（夏季28℃、冬季20℃）
- ・ クールビズの実施（5月1日～10月31日）《全社通達、ポスター掲示等による周知》

② 節電の励行

- ・ 前出『アピールしたい取組項目』を参照ください。

③ 節水の励行

- ・ トイレ手洗い場の水栓を自動水栓に交換

④ 省エネ・新エネ設備機器等の導入

- ・ 省エネタイプの高効率エアコン導入《2016～2017年に完了》
- ・ 執務スペースの照明を100%LED蛍光灯に交換《2017～2018年に完了》

⑤ グリーン購入の推進

- ・ 事務用品グリーン購入率UP（現在）コピー用紙100%・名刺100%・封筒100%・ファイル100%
- ・ 建設施工部門ではグリーン調達品を定め環境負荷の少ない資機材・製品調達、工法選定を推進

⑥ 自動車利用の抑制

- ・ エコ通勤《原則公共交通機関での通勤ルール》
- ・ ハイブリット車の導入《支店導入率 50% (9 台/18 台)》(2022 年までに 100%達成予定)》

⑦ ごみの再資源化

- ・ ごみの徹底分別《多品目分別ボックスの設置》
- ・ コピー用紙使用量の低減活動《両面コピー、裏紙利用》

⑧ CSR活動等独自の取組

《全社（本支店共通）》

- ・ 「ISO14001 全社認定取得」（2000年）
- ・ 本社、支店、作業所（一定規模以上）に AED（除細動器）を社内外に向けて設置（2014 年から）
- ・ 「環境法令検定」認定者の育成《環境法令の順守強化に向け 2016 年から受検。全社認定者 60 名》
- ・ 国連 SDGs に賛同し、サステナブル社会の実現への貢献に向けて 5 つの環境目標要素を特定し、貢献のあり方について検討実施中。ESG への取り組み強化。

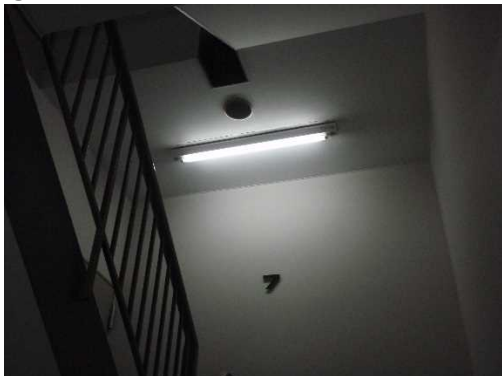
《支店》

- ・ 「階段フィットネス」の実施（2017 年から実施）
- ・ 大阪支店の環境社会貢献活動「大阪支店周辺清掃活動」等（2013 年から参加）
- ・ 神戸営業所の環境社会貢献活動「身のまわりクリーンアップ作戦」等（2013 年から参加）
- ・ 支店担当部門による支店管轄作業所を対象にした環境に特化したヒアリングを展開。環境活動の不足事項、改善事項に対する支援、指導（2014 年から実施。実績は 22～30 作業所/年）
- ・ 外勤若手社員に対して環境基礎教育の実施（2014 年から実施。1 テーマ/年で実施）

①適正冷暖房温度の設定：夏季28℃以上、冬季20℃以下



②節電の徹底：人感知センサー組込照明



・「利用時のみ点灯」の実施：トイレ、洗面所



・「温水便座フタ閉め」の実施



